



干布小学校だより

11月号 H30.11.27

天童市立干布小学校

校長 三好 義宏

伝えよう干布の学び 学習発表会

17日は、干布小学習発表会でした。学習の集大成や経過報告の意味合いが強いものですが、学年の特色がよく出た、発表会となりました。



1年生は、生活科の学習をもとにしたげき「カモン ベイビー ほしぬの」でした。自分たちで育てている動物の赤ちゃんの話でした。

幼稚園や保育園とはちょっと違う、学習をもとにしたものです。動物に変身して行く、素敵なダンスと大きな声でのセリフに、しっかりと自分が入っていました。



2年生は、国語で学習する予定の「干支」の劇でした。衣装や動物の動きを見て、何の動物だかすぐわかった人も多かったのではないのでしょうか。干支のそれぞれのエピソードが学べる、ためになる劇でした。2年生のまとまりのよさもあらわれていました。



3年生は総合的な学習「大根料理をつくろう」の中間報告でした。地域の先生から教えてもらったことや、算数の授業と「つながる」ことで、自分事として学習したことが分かります。



3・4年生の『赤い屋根の家』と『レッツ テイク ア チャンス』の合唱がありました。市民音楽会で響かせた、透き通った歌声を、もう一度聞かせてくれました。4年生のピアノ伴奏と3年生をリードする歌声は、干布小の伝統として引き継がれていくはずです。



4年生は、総合的な学習「ベニバナ」の学習発表でした。紅花を、あんなにたくさんの事に使えるなんて、驚きました。たくさんの「問いかける」を生かして、たくさんの解決方法を見つけて学習を進めました。これから、最終報告会を予定しているようで楽しみです。



5年生は、「ぼくら 干布モンテジュニア応援隊」は、総合的な学習での取組を劇にしました。4年生同様、総合的な学習の最終目標は12月にあるようです。子供たちは地域の宝ですが、モンテも干布地区の宝の一つです。5年生が、モンテをどれくらい愛しているかわかる発表でした。12月まで、もうひと踏ん張りです。



6年生は、「いざ！干布史跡マスターへ！～あなたはいくつ知っていますか～」をテーマに、総合的な学習で学んだことを劇化しました。見ている人を意識した、セリフの言い方、身のこなし、プロジェクター使用など、さすが6年生です。前日の自己採点では、約72点でしたが、本番はどうだったでしょう。6年生は、出来栄を自分に問いかけ、次へつなぐことができるようになっているようです。

平成30年度

天童市PTA 連合会 研修大会

17日は、市PTA連合会の研修大会に干布小から8名参加し、研修を深めてきました。特に、C

天童市PTA連合会研修大会 C分科会資料
天童市立干布小学校PTA

さまざまな取組を通して、子供の健やかな成長を支えるPTA活動

1 PTA活動を推進するための3つの重点

本校では、次の3つの重点でPTA活動を進めている。

重点1 子どもにとってプラスのコミュニケーションづくりの推進

- ☆親子標語募集（低中高テーマ別）
- ☆親子の会話の推進・親子ふれあいカード発行
- ☆親子読書の推進・公共に連絡し合えるPTA

重点2 保護者参加型のボランティア活動の推進

- ☆運動会・読み聞かせ・交通教室・校外体験活動・PTA奉仕作業・公開研究会 等

重点3 早寝・早起き・朝ごはん、ノーゲームデー運動の推進

☆ノーゲームデーの推進（メディアアンケートを秋に実施）

この具体的な内容について以下紹介する。

2 3つの重点についての主な活動内容

(1) 重点1 子どもにとってプラスのコミュニケーションづくりの推進

①親子標語募集（低中高テーマ別）

親子で作った1つの標語を募集する取組（低学年：オアシス標語・中学年：交通安全標語・高学年：メディア標語）を実施している。一昨年度までは全学年がオアシス標語だったが、昨年度から学年に応じた3種類の標語に変更した。学年2点ずつを入選作品として、校内や公民館・各分館に掲示している。

なお、交通安全標語入選者4名は、地区の交通安全大会で発表する機会をいただいた。

②親子の会話の推進・親子ふれあいカード発行

「親子へ」「子から親子へ」双方がメッセージを書いてプレゼントする『親子ふれあいカード』の取組を実施している。メッセージカードをもとに、親子が日頃なかなか声に出せない感謝の気持ちを相手に伝えながら会話の促進・心の交流をわらった取組である。

また、親子がメッセージを書き、封筒に入れて親対し学校に提出する。各学級で学級活動の

発表したレジュメの一部

交通安全親子標語



【堂々と発表する入選者】

分科会では、吉田副会長が本校の特徴的な取組を分かりやすく発表してきました。興味を持った方からの質問にも、しっかりと答えて下さいました。

文化の秋でしょうか、最近、社会教育関係の行事に参加する機会が多くありました。

1つ目は、「干布モンテ応援隊 芋煮会交流会」です。福原会長の呼びかけで、大宮戦を鑑賞しながら、水戸部さんの里芋を使った芋煮をおいしくご馳走になりました。試合は負けましたが、大盛り上がりのひと時でした。

2つ目は、天童市生涯学習フェスティバルです。様々な分野で活躍、貢献された方や団体の表彰がありました。本地区からは、社会教育推進員工藤美穂子さん、地域づくり委員会小委員長工藤一夫さん、いじめ標語優秀賞の4年三沢くるみさんが受賞しました。団体では、四谷との交流を企画・運営している青少年育成会が受賞し、安達会長が受け取りました。おめでとうございます。

3つ目は、プロバスケットボールB2リーグ山形ワイヴァンズホームゲーム、市民応援デーに行きました。2階席は小中学生無料開放となり、たくさんの観客で埋め尽くされました。一週間前に、酒田であったバレーボール2部リーグアランマーレホームゲームも観たのですが、地元チームが真剣勝負する様はいいものです。

4つ目は、県の生涯学習課で主催した「山寺魅力探究ツアー」への参加です。吉村知事と同じ班になり、山寺の魅力をガイドさんからたくさんお聞きしました。干布小の子供たちにも、日本遺産になった「山寺と紅花」について、学ぶ機会があれば感じた、半日でした。

干布地区や隣接地区に、たくさんの学習材や教材があると思っております。ふるさとを愛する子供たちに育ってほしいと、願いは強くなります。



日本遺産「山寺と紅花」認定記念 山寺魅力探究ツアー 平成30年11月11日(日) 於：根本中堂前